

J.S.U. Fieldwork PROJECT



疑問や好奇心を積極的に、自由に広げる

動物生態学研究室

サルやシカなどの野生哺乳類を対象に、身近な自然の「生き物のつながり」を研究しています。炎天下での行動観察、糞の分析などハードな作業が多いですが、やりがいがあります。「好きな動物のことをとことん調べたい!」という学生さんを歓迎します。

理工学部 生物科学科

辻 大和 准教授

東京大学大学院 農学生命科学研究科 博士課程修了[博士(農学)]、京都大学 霊長類研究所助教を経て現職。著書に『与えるサルと食べるシカ:つながりの生態学』(地人書館2020年)などがある。

VOICE

在学生の声



ロードキルを減らしたい

自分が好きな猫の行動に関する研究をしたいと考えていた際、「ロードキル(動物と自動車の交通事故)」の話の聞き、動物の被害を減らしたいと思いました。石巻市内だけでも年間1000件以上発生しており、効果的な事故対策の提言をめざして研究しています。

理工学部 生物科学科 4年

鈴木 風磨さん

(山形県山形中央高等学校出身)

VOICE

在学生の声



「教える」中に「気づき」がありました

スマートコーチに参加し、野球の知識を中学生にもわかりやすく伝える方法を学び、自分のレベルアップに繋がりました。動作を伝えるためには、「自分がやってみて理解した上で教えることが大切」という、気づけていなかったことを知る良い機会になりました。

経営学部 経営学科 2年

石倉 春輝さん

(東京都日本学園高等学校出身)



データ活用で論理的な未来志向コーチング

石巻専修大学×石巻市×ソフトバンク 「スマートコーチを活用した部活動サポート」

地域と企業の産官学連携の取り組みで、ソフトバンクが提供する遠隔指導サービス「スマートコーチ」を活用し、石巻市内の中学生のスポーツ指導を実施。動画で可視化することにより、論理的なコーチングスキルの習得をめざします。

経営学部

池田 昌人 客員教授

1997年東京デジタルホン(現ソフトバンク)入社。営業、マーケティング戦略部門を経て現職。CSR本部長・SDGs推進室長として社会貢献事業とソフトバンクのSDGsへの取り組みを推進する他、無利益でのPCR検査を提供する新会社の代表取締役社長として、社会貢献活動の幅を広げている。